

第3学年*組 平成*年*月*日 (* 第*校時)		国語科学習指導案			
		** 教室 指導者 ***			
育成する国語の能力	語句の意味、用法を踏まえて文章を的確に理解し、自分の表現に役立てる能力				
単元名	小論文—課題文を読んで自分の考えを論理的に書いてみよう—				
単元目標	○課題文に対して自分自身の考えをもち、自分の表現に役立てようとする。 (関心・意欲・態度) ○課題文に対する自分の考えを、論理的に書くことができる。 (書く能力) ○課題文の語句の意味、用法を理解し、適切な表現で小論文を書くことができる。 (知識・理解) ([伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]「現代文B」内容の(1)の才)				
単元の評価規準	関心・意欲・態度	書く能力	知識・理解		
	課題文に対して自分自身の考え方をもち、自分の表現に役立てようとしている。	課題文に対する自分の考え方を、論理的に書いていている。	課題文の語句の意味、用法を理解し、適切な表現で小論文を書いてている。		
取り上げる言語活動	現代文の授業の15~20分を使い、200字小論文を書く				
題材(教材)	朝日新聞「天声人語」、読売新聞「編集手帳」、茨城新聞「茨城春秋」				
単元(教材)について	(1) 生徒観：「書く力」に関するアンケート結果から、書くことに苦手意識を持った生徒が多いことが分かる。書けない理由として、「何も思いつかない」「ネタがない」などと、知識量の不足を挙げる生徒が多い。また、「書き方がわからない」など、形式を理解できていないことを理由とする生徒もいる。知識量の不足は、家庭学習や読書を勧めたり、教養や語彙を身に付けるための授業改善をして対応したい。形式の理解のためには、形式を踏ました上での反復練習を実施する。そのため、授業時間を利用し、文章を書くことを習慣づけ、書くことに対する苦手意識の緩和および自分の意見を表現する力を身に付けられるようにする。 (2) 教材観：課題文は、新聞のコラムを利用する。文全体も簡潔にまとまっており、短い時間で比較的短い文章を読み解し、ポイントを把握させ、その上で自分の考えを論理的にまとめる活動に適していると考える。また、課題文があることで、論理的に思考しやすくなると考える。 (3) 指導観：実際に文章を書く時間を10分間と限定する。また、文字数は200字とする。短時間であることで、取り組みへの抵抗感を和らげることができる。文字数については、普段の授業において、課題文を100字の要約文にするという演習を実施しているので、小論文の演習としては、200字程度を目標とすることがふさわしいと考えた。その後、構成、意見、語句の3点について、A・B・Cの三段階で自己評価させる。更に文章、意見、語句についてA・B・Cの三段階で相互評価をする。				
指導計画	主な学習活動		各時間の具体的評価規準及び指導の手立て		
指導計画(学習計画)	• 教師の書いた文章を読み、目標とするレベルを知る。 • 課題文を読む。 • 10分間で200字程度の小論文を書く。 (5分) (10分) • 自己評価をする。 • 隣席の生徒と相互評価をする。 (5分)		【評価規準】 • 課題文に対して自分の意見を持ち、それを読み手に伝えようとしている。 (関心・意欲・態度) 【評価方法】 • 原稿用紙の提出および確認 • 評価シートの提出および確認 【指導の手立て】 • 200字書けない者に対して、課題文読み解きのキーワードを板書しておく。 • 自己評価、相互評価とも、内容や構成などについて評価の基準を明確に示す。 • 相互評価において、相手の意欲を削ぐような否定的なコメントの記入を禁止する。		
1 (20分)					

2 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ・前回と同じ課題文について、10分間で200字程度の小論文を書く。 (10分) ・自己評価をする。 ・隣席の生徒と相互評価をする。 (5分) 	<p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを論理的に書こうとしている。 (書く能力) ・課題文の語句を正確に理解し、ふさわしい言葉で小論文を書こうとしている。 (知識・理解) <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原稿用紙の提出および確認 ・評価シートの提出および確認 <p>【指導の手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価シートの内容や教員による評価をふまえ、論理的に書くことを心がけるように指示する。
3 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題文を読む。 (5分) ・10分間で200字程度の小論文を書く。 (10分) ・自己評価をする。 ・隣席の生徒と相互評価をする。 (5分) 	<p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題文に対して自分の意見を持ち、それを読み手に伝えようとしている。 (関心・意欲・態度) ・自分の考えを論理的に書こうとしている。 (書く能力) ・課題文の語句を正確に理解し、ふさわしい言葉で小論文を書こうとしている。 (知識・理解) <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原稿用紙の提出および確認 ・評価シートの提出および確認 <p>【指導の手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の力で課題文を読み、相手に伝わることを意識して書くように指示する。
4 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ・前回と同じ課題文について、10分間で200字程度の小論文を書く。 (10分) ・自己評価をする。 ・隣席の生徒と相互評価をする。 (5分) 	<p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを論理的に書こうとしている。 (書く能力) ・課題文の語句を正確に理解し、ふさわしい言葉で小論文を書こうとしている。 (知識・理解) <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原稿用紙の提出および確認 ・評価シートの提出および確認 <p>【指導の手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価シートの内容や教員による評価をふまえ、論理的に書くように指示する。
5 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ・初読の課題文を読む。 (5分) ・10分間で200字程度の小論文を書く。 (10分) ・自己評価をする。 ・隣席の生徒と相互評価をする。 (5分) 	<p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題文に対して自分の意見を持ち、それを読み手に伝えようとしている。 (関心・意欲・態度) ・自分の考えを論理的に書こうとしている。 (書く能力) ・課題文の語句を正確に理解し、ふさわしい言葉で小論文を書こうとしている。 (知識・理解) <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原稿用紙の提出および確認 ・評価シートの提出および確認 <p>【指導の手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価シートの内容や教員による評価をふまえ、論理的に書くように指示する。

本時案（第4時）		
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> 評価シートの内容を踏まえ、自分の考えを論理的に書いている。（書く能力） 課題文の語句を正確に理解し、ふさわしい言葉で小論文を書いている。（知識・理解） 	
学習活動	指導上の留意点	評価・方法など
<p>(導入)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の目標を確認する。 課題文、評価シート、原稿を用意する。 <p>(展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> 200字の原稿用紙に、前回の内容を踏まえて、小論文を書く。 自己評価をする。 相互評価をする。 <p>(まとめ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 原稿および評価シートを提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に評価シートと原稿を返却し前時の振り返りをさせる。 新しい原稿用紙を配付する。 前回の授業の自己評価・相互評価の内容を生かし、改善すべき点を考えながら書くように指示する。 机間指導をしながら、自分の意見を論理的に書こうとしているか確認する。 前回の内容と比べて、改善された部分を意識させる。 きちんと評価シートを記入できたか確認させて、提出させる。 	<p>書くことができない生徒には、机間指導により、アドバイスする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題文の語句を正確に理解し、ふさわしい言葉で小論文を書いている。（知識・理解） 〈記述内容の確認〉 自分が最も伝えたいことを書いている。（書く能力） 〈記述内容の確認〉 〈評価シートの内容確認〉